

Kyoto Prefecture Hospital Association News

第8号

2016年1月

京都府病院協会ニュース

《発行所》一般社団法人 京都府病院協会 《発行人》依田 建吾 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6 京都府医師会館内
TEL 075-354-6104 FAX 075-354-6074 <http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp/>

新年のご挨拶

一般社団法人京都府病院協会会長 依田 建吾



新年あけましておめでとうございます。

京都府病院協会の会員の皆様方におかれましては、平穩のうちに新年をお迎えになられました事と拝察し、お慶びを申し上げます。

本年は、4月に診療報酬改定を控えております。12月の閣議決定で全体で1.03%、8年ぶりのマイナス改定となりました。本体部分は0.49%のプラスとは言ものの前回改定に見られる、総合入院体制加算1のように、アツプの目玉たる項目が全国で僅か4病院しか算定出来ないというハドルの高い現状や、更なる人件費の投入が必須条件となる項目など、医療機関にとって相当厳しい

状況になる事は間違いないと考えられます。ことに財政制度審議会の吉川洋会長は医療・介護にかかるとの歳出の抑制を明確に打ち出しております。たしかに40兆円を超える医療費を何とかしなければならぬのは当然ですが、構造改革無しの医療費抑制策は医療崩壊を招いた小泉内閣の骨太の方針を踏襲するもので、民主党政権時代に消滅しかけた経済財政諮問会議の復権とともに、医療界にとって逆風であることに間違いありません。

昨年からは病床機能報告制度を基準にした地域医療構想策定のための協議も医療審議会の中に部会を設置する形でスタートしました。細部の検討は既存の地域保健協議会において行われる事になり、京都市内においては別個の協議会を設けることになりました。病床総数では大幅減にはなりません、特定機能病院が2つありバランスが悪い市域でビジョンを実現するための課題は決して少なくは無いと考えます。この稿をしたためている現時点においても策定部会の

開催はようやく2回目という状況です。今後どのように議論が進んでいくか明確にはなっておりませんが、京都府においては構想区域として現行の6つの二次医療圏を踏襲し設定することになっております。京都府病院協会の諸病院は規模や経営母体の違い等はありませんが、京都府病院協会として結束し、京都私立病院協会とも協力し、対応していく必要があると思います。

京都府病院協会は法人化されたとはいえ、事務局も医師会の1室をお借りしている状況で、人的資源も乏しく、2025年に向けての多くの課題の解決には会員諸病院の皆様方のご理解、ご協力が無くては不可能ですので、今後ともよろしくお願い致します。

最後に、会員病院の皆様方にとって2016年がより良い1年であり、会員施設の益々のご発展と皆様方のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。



謹賀新年

会長 依田 建吾
(京都第一赤十字病院)

副会長 三木 真司
(三菱京都病院)

副会長 香川 恵造
(福知山市市民病院)

理事 北 堅吉
(日本バプテスト病院)

理事 日下部 虎夫
(京都第二赤十字病院)

理事 杉山 博
(宇多野病院)

理事 辰巳 哲也
(公立南丹病院)

理事 中村 孝志
(京都医療センター)

理事 中村 直登
(済生会京都府病院)

理事 能見 伸八郎
(京都鞍馬口医療センター)

理事 野口 雅滋
(京都桂病院)

理事 宮野前 健
(南京都病院)

理事 森本 泰介
(京都市立病院)

理事 山下 俊幸
(京都府立洛南病院)

監事 倉澤 卓也
(京都予防医学センター)

監事 齋藤 信雄
(NTT西日本京都病院)

平成28年 新春講演会・ 懇親会を開催

平成28年の新春講演会・懇親会を、1月7日(木)、京都ホテルオークラにて開催しました。当日は会員病院から60名の方々に出席をいただきました。

新春講演会では、依田会長を座長に、公益財団法人ルイパストゥール研究所長を招きし「京都に発した近代西洋医学のビックバン」と題して、大変興味深い講演をいただきました。藤田先生は、近代西洋医学の歴史を紐解きながら、医学史上の偉人、山脇東洋、華岡青洲等の活躍を概説した上で、日本における西洋医学の歴史の中において、西洋医学の導入の発火点になったのは京都であるとお話をされました。

講演会終了後は会場を移して懇親会を開催しました。懇親会は香川副会長の司会のもと進行。冒頭、依田会長の挨拶に続き、公務ご多忙の中、ご臨席いただいた来賓の方々よりご祝辞をいただきました。その後、本会の中島徳郎顧問の乾杯のご発声により開宴、新たに会員病院となられた先生方にもご挨拶をいただく等、終始和やかな雰囲気でした。今年度は過去最高のご出席をいただき、新春懇親会も盛会裏に閉会となりました。

平成27年度 病院長研修

佐久医療センター(長野県佐久市)を見学

平成27年11月13日(金)、14日(土)の両日、長野県佐久市の佐久医療センターを見学しました。今回は依田会長以下19名の先生方にご参加いただき、過去最高の参加人数となりました。

佐久医療センターは、長野県東信地域の基幹病院。「病院完結型医療から地域完結型医療へ」をコンセプトに佐久総合病院から分割移転、平成26年3月1日に開院されました。病床数450床を有し、主として高度急性期医療を担う佐久医療圏における中核病院です。



ヘリポートを見学する参加者

平成27年6月には佐久地域で初めての地域医療支援病院として承認され、今後ますます地域全体の医療を支える病院としての活躍が期待されています。

当日は、医療センターの概要について説明を受けた後、約1時間半にわたり院内(病棟やヘリポート等)を見学させていただきました。参加者も熱心に担当者の説明に耳を傾けていました。

医療センターには「脳卒中・循環器病センター」「救急救命センター」「がん診療センター」「周産期母子医療センター」「高機能診断センター」の5つのセンター機能があり、地域を支える安心と信頼の高度医療が展開されています。特に、高度医療、救急医療を担う全機能が2階に集約され、救急搬送においては、2階へのアクセスとして「救急搬送専用のスロープ」が設けられていました。平成17年7月からはドクターヘリの運用も開始され、平成26年度は462件の出動実績があり、長野県下では信州大学病院とともに、県全体の救急医療を担っております。

このように高度急性期医療を担う一方で、院内の1Fには医師、看護師、薬剤師、医療ケースワーカー、栄養士等、多くの職種の方が所属する「患者サポートセンター」を設置されています。病院で必要な

手続き等がこのセンターで完了するようになっており、患者さんの利便性にも配慮されています。また、敷地面積129,100㎡という広大な敷地を有し、病院建物の周りは地域住民の方が自由に利用できるようになっています。特に敷地内での植樹活動等を展開(「病院を森に」プロジェクト)されており、病院と地域住民との深いつながりを感じる、魅力ある取り組みもされていました。

第51回

京都病院学会

多数、ご参加ください!

京都病院学会は今回で51回目を迎えます。本学会は京都府内の全病院を対象に、病院に勤務する全職種の人々が参加する全国的にも例を見ない学会として定着していますが、毎年、各部門から日常の医療活動や臨床の成果等、数多くの演題発表をはじめ、メインテーマに基づいた基調講演・シンポジウムや各界の著名人をお招きしての特別講演もあり、これらを通じて府内の病院全体の医療の向上に努めています。

第51回の学会は京都私立病院協会が担当し、学会長には京都私立病院協会副会長の武田隆久先生が就任されました。

また、今回の基調講演では、国際医療福祉大学の高橋泰先生をお迎えし「地域医療構想を見据えた病院のあり方(仮称)」と題してご講演いただきます。京都府においても、地域医療構想の策定が進んでいますが、今後の病院医療のあり方について大変興味深いお話しをお聞きできるものと思います。

概要

【日 時】平成28年6月12日(日) 午前9時～午後5時
【場 所】池坊短期大学
【学会長】武田 隆久氏(京都私立病院協会 副会長)
【共 催】京都私立病院協会・京都府病院協会

学会事務局

〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON 烏丸8階
京都私立病院協会内 TEL: 075-354-8838 FAX: 075-354-8802

平成28年度 診療報酬改定

本体はプラス改定も全体ではマイナス0・84%

平成28年度の 診療報酬改定について

1. 診療報酬本体	+0.49%
各科改定率	医科 +0.56%
	歯科 +0.61%
	調剤 +0.17%
2. 薬価等	
① 薬価	▲1.22%
上記のほか	
・市場拡大再算定による薬価の見直しにより	
▲0.19%	
・年間販売額が極めて大きい品目に対応する	
市場拡大再算定の特例の実施により	
▲0.28%	
② 材料価格	▲0.11%

なお、上記のほか、新規収載された後発医薬品の価格の引下げ、長期収載品の特例的引下げの置き換え率の基準の見直し、いわゆる大型門前薬局等に対する評価の適正化、入院医療において食事として提供される経腸栄養用製品に係る入院時食事療養費等の適正化、医薬品の適正使用等の観点等からの1処方当たりの湿布薬の枚数制限、費用対効果の低下した歯科材料の適正化の措置を講ずる。

「重症度、医療・看護必要度」の項目、重症者の割合に関する基準等の見直し②病棟群単位での届出③在宅復帰の基準に関する見直しが盛り込まれました。特に「重症度、医療・看護必要度」項目における当該患者割合の15%基準の引き上げや10対1入院基本料への転換へ向けた激変緩和措置として導入が提示されている「病棟群単位」についても意見の隔たりが埋まる状況にはなく、今後の動向が注目されます。

医療事故調査制度

制度施行から3か月、 報告件数は累計で81件

昨年10月の施行から3カ月が経過しましたが、医療事故調査・支援センター（以下、支援センターという）には累計で81件の報告（2015年12月末）がなされています。

支援センターの報告によると、制度施行後の状況として報告件数は10月が19件、11月が26件、12月が36件で、報告件数は徐々に増加傾向にあります。医療機関別でみると、病院からの報告は累計で70件となっています。また、診療科別では「外科」が14件と最も多く、次いで「内科（13件）」、「産婦人科（8件）」、「脳神経外科・精神科（6件）」となっています。なお、院内事故調査の報告書がすでに7件（累計）出されていますが、支援センターへ調査を依頼した案件はありません。

一方で、支援センターに寄せられた「相談件数は累計で597件。相談内容の内訳は「医療事故報告の判断」154件、「医療事故報告の手続き」165件、「院内調査」157件などでした。



平成27年度 京都府保健医療・救急医療功労者等知事表彰

本会から個人2名、2団体が受賞

平成27年度京都府保健医療・救急医療功労者等知事表彰の表彰式が昨年11月に執り行われ、京都府病院協会からは保健医療・救急医療の各部門において、個人2名と2団体（うち1病院は他団体推薦）が受賞されました。受賞者は左記のとおり。先生方の受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

◎ 本会推薦

「保健医療功労」

個人の部

宮野前 健氏
（国立病院機構南京都病院）

「救急医療功労」

個人の部

日下部 虎夫氏
（京都第二赤十字病院）

団体の部

舞鶴共済病院

◎ 他団体推薦

「救急医療功労」

団体の部

京都四条病院



地域医療介護総合確保基金による支援事業のご案内

「勤務環境改善支援事業」を実施 ～是非、ご活用ください～

平成26年度より消費増税分を活用した「地域医療介護総合確保基金」が各都道府県に設置されました。すでに京都府におきましても事業計画が策定され、一部の事業が実施されています。

すでにご案内のとおり、京都府病院協会ではこの基金を活用した「医療機関における勤務環境改善にかかる事業」を申請し、採択されたところです。

支援事業の内容は以下のとおりです。各病院におかれましては、是非、本事業をご活用いただき、今後の勤務環境改善に役立てていただければと存じます。

事業の詳細については、京都府病院協会：事務局までお問い合わせください。

事業名	事業概要	支援内容
スペシャル医療クラーク(SMC)育成事業	京都医療センターの協力のもと、スペシャル医療クラークの育成を図ることにより、勤務環境の改善を図ることを目的とします。 ★期間：2月15日(月)～3月9日(水) *祝祭日を除く(月)～(金)の全18日間 *受講生は12名を上限とします ★開催場所：京都医療センター ★対象者：各病院で医師事務作業補助者あるいは診療情報管理士として勤務中ないし勤務予定者 ★申込締切：2月5日(金) ★書類提出先：京都府病院協会：事務局に願書等の必要書類を添えて提出	以下の費用を補助します。 *コース参加費 *参加者の給与の一部 (10万円/名を限度) 上記費用については、京都府病院協会より直接、関係機関にお支払いします。 また、基金を活用した事業のため、費用の支払いについては年度末あるいは来年度当初のお支払いとなります。
専門医等取得のための学会参加への支援事業	医療関係者のスキルアップのための学会参加を促進することにより、勤務環境の改善を図ることを目的とします。 ★期間：平成27年10月1日～平成28年3月31日までに参加した学会等 ★対象経費：学会等への参加費 ★申請締切：平成28年3月末日まで ★書類提出先：京都府病院協会：事務局に学会に参加した証明(受講証)と参加費の領収書を添えて提出	1病院10万円を限度に参加費を補助します。 上記費用については、京都府病院協会より直接、医療機関にお支払いします。 また、基金を活用した事業のため、費用の支払いについては年度末あるいは来年度当初のお支払いとなります。
救急蘇生トレーニング機材の貸し出し事業	救急蘇生にかかるトレーニング機材を貸し出し、各病院における研修体制の充実、医療関係者のスキルアップを図ることを目的とします。 ★機材：ALSシミュレータアドバンス ★対象：会員病院 ★申込方法：京都府病院協会：事務局に「利用申請書」を提出	各病院で研修を実施される際に使用する「救急蘇生トレーニング機材」を無料で貸し出しします。